

鯖を愛する  
小浜から生まれた  
新しい味覚



# 若狭おばま 鯖おでん

鯖のまち小浜に  
新たなご当地グルメが  
誕生しました。



小浜市内8か所で、各店舗オリジナルの  
若狭おばま鯖おでんを召し上がれます。  
提供店舗はホームページでご確認ください。

深いコクと味わい  
を与えます。

その名も  
『若狭おばま鯖おでん』。  
名前のとおり、鯖が入ったおでんです。  
KISUMO小浜が開発したメニューは、  
和風ベースの『癒しの白』と  
トマトベースの『情熱の赤』。  
ダシの決め手の『鯖しようゆ』と、  
田島地区きんちゃく網漁をイメージした  
『鯖のきんちゃく』が、  
ダシと相まって、おでん全体に

若狭おばま鯖おでん お問い合わせ先  
KISUMO小浜福井県小浜市大手町5-32小浜商工会議所内  
TEL 0770-52-1040 URL <http://www.kisumoobama.jp/>

\*写真はKISUMO小浜開発バージョンの若狭おばま鯖おでんです。

## このまま、そのまま、ありのまま 若狭おばま

1ターナーが魅かれた若狭おばまの風景

企画、編集、発行：KISUMO小浜1ターナープロジェクト  
絵：奥田哲一



各種お問い合わせ：小浜市役所

- 移住に関するご相談：企画課
- 本書お問い合わせ：商工観光課

TEL: 0770-53-1111 (代)

福井県小浜市大手町6-3

URL: <http://www.1.city.obama.fukui.jp/>





はじめに

小浜<sup>おばま</sup>には、きれいな海があり、緑豊かな山があり、田畑を潤す清き川が流れ、人々が暮らす豊かな里、昭和チックな町並みがあります。

地元の人たちには見慣れたなんということもない風景でも、Iターン者には若狭小浜<sup>わかさおばま</sup>の絶景・名勝なのです。

「なぜか癒される観光名所ではない里山の風景」  
「ノスタルジーを感じさせる路地から見る海の夕日」

そんなIターン者が感動する小浜の風景を一堂に集めマップで紹介したら、新たな観光資源、Iターン・Uターン誘致活動に使えるのではないか？

そして地元の人たちに、「小浜はこんなに素晴らしいところなのだ」と再認識してもらえるのではないか？

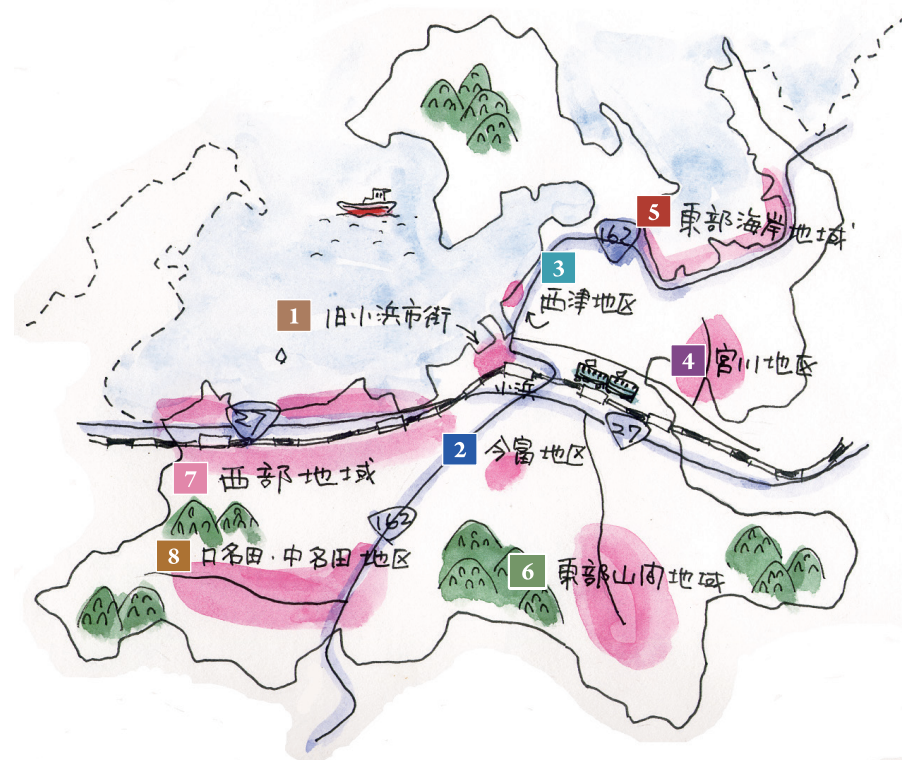
こうして、2014年K I S U M O小浜Iターンプロジェクトが発足しました。

Iターンプロジェクトに賛同くださり、参加・協力いただいたIターンの皆様、各種団体の皆様に心から御礼を申し上げます。

来たい、住みたい、戻りたい、そんな小浜を作りたい。



2014年12月吉日  
K I S U M O小浜



目次

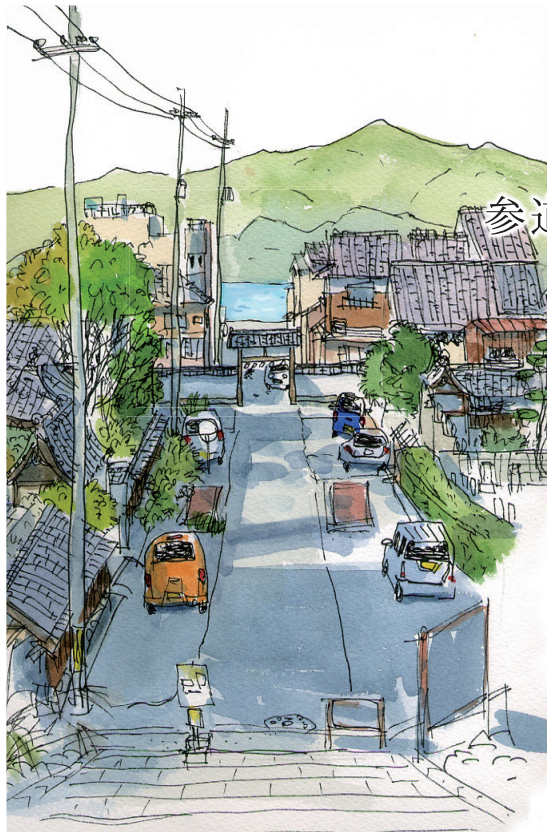
旧小浜市街	1
今富地区	2
西津地区	3
宮川地区	4
東部海岸地域	5
東部山間地域	6
西部地域	7
口名田・中名田地区	8



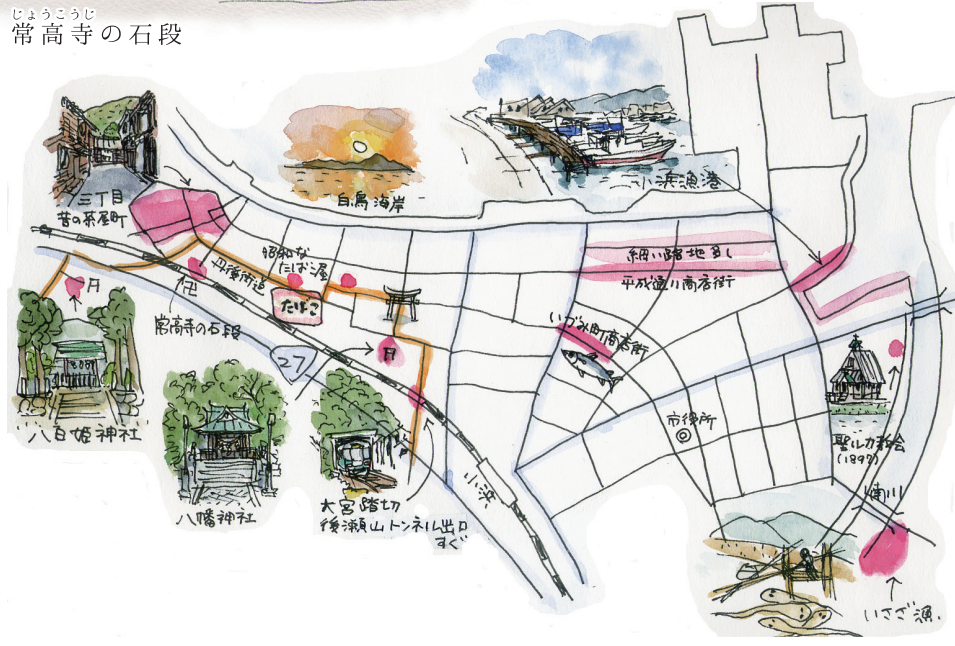
1 おばま 旧小浜市街

かつての城下町、  
参道からのぞむ美しい海

JR小浜駅の周辺5キロ、国道27号線から小浜湾まで、かつての城下町が旧小浜市街になります。城下町は西組・中組・東組で構成され、西組を中心に古い町並みが今も残っています。常高寺の参道の石段を登ったところを小浜線が横切っています。ここから振り返ると正面に内外海半島と四角く切り取られた美しい海が見えます。路地から見える海と夕日、踏切の音、夕餉の支度の匂い、レトロな商店街、昭和の良き時代の暮らしがここにあります。



常高寺の石段



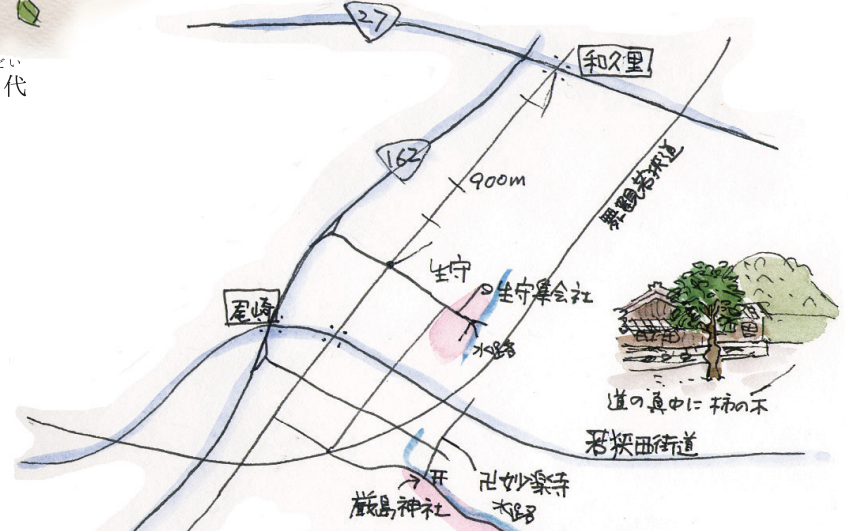
2 いまとみ 今富地区

生活と水路といきものたち

南川の東側、多田ヶ岳を臨む集落には、いくつかの古刹があります。そのひとつ妙楽寺のある野代集落は、谷川の水路に沿って家が立ち並びます。各家、水路に降りる階段を設けられてあり、かつてここで野菜などを洗っていたのでしょうか。生守集落でも水路に沿って家があり、タニシのいる水路に、夏は蛭が飛び交います。里道の真ん中に、なぜか一本の柿の木が残されています。集落の人に聞くと、ある家の守り木だったそうです。利便性追及ではない、里の暮らしがここにあります。

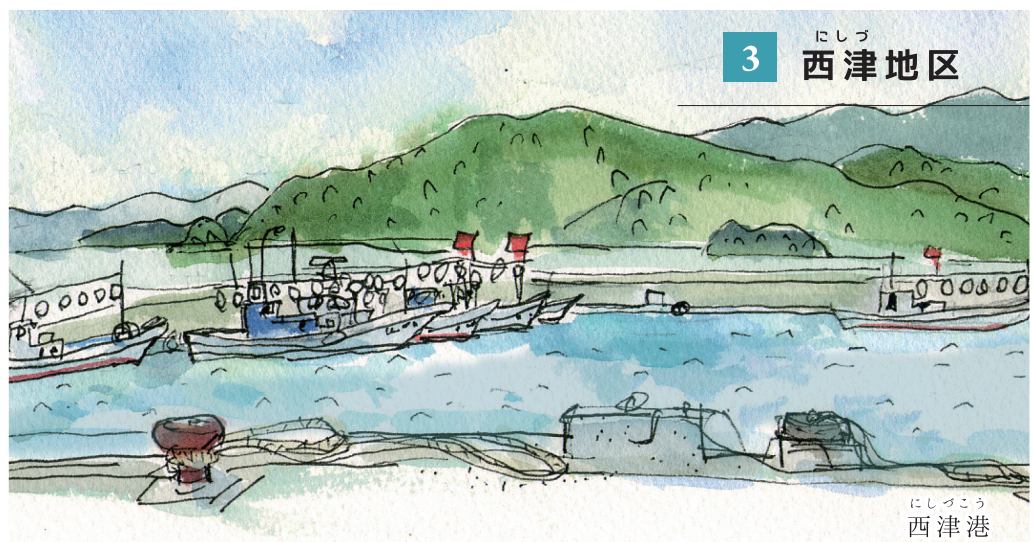


野代





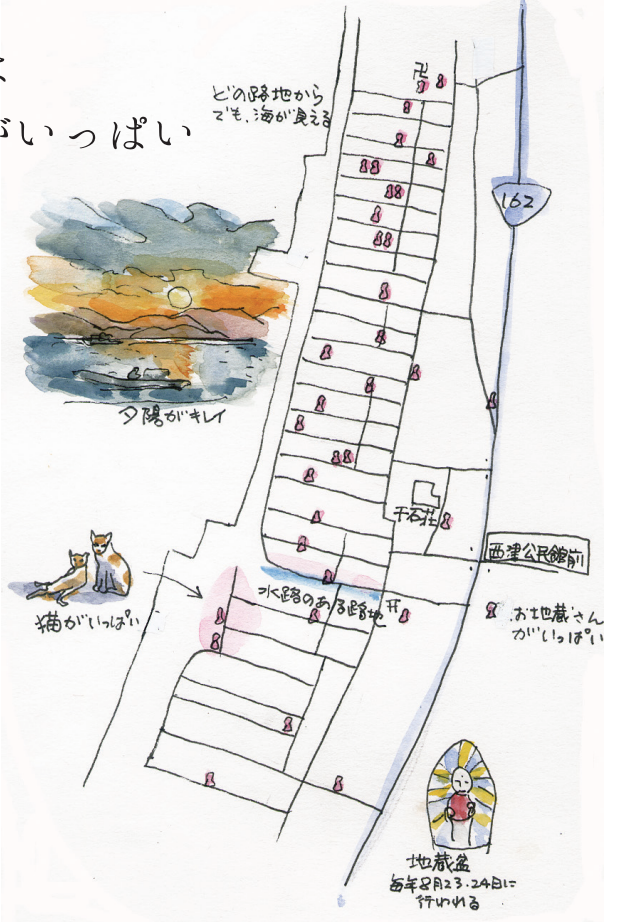
にしづ 3 西津地区



にしづこう 西津港

漁と箸のまちには  
お地蔵さんと猫がいっぱい

にしづ 西津は、小浜駅を背にして旧道の左側は漁師町、右側は箸職人の商家町です。漁港から旧道に向かって、何本もの細い道に区切られた旧地区があり、それぞれの地区にお地蔵さんが祭られています。細い路地を歩いていると、「猫に注意」の看板や、漁具や魚を洗うレトロなモザイクタイルの水栓があり、人々は軒先に花を植えています。西津浜には、はまなすが自生しており、夏には鮮やかなピンクの花を見ることができます。



4 宮川地区

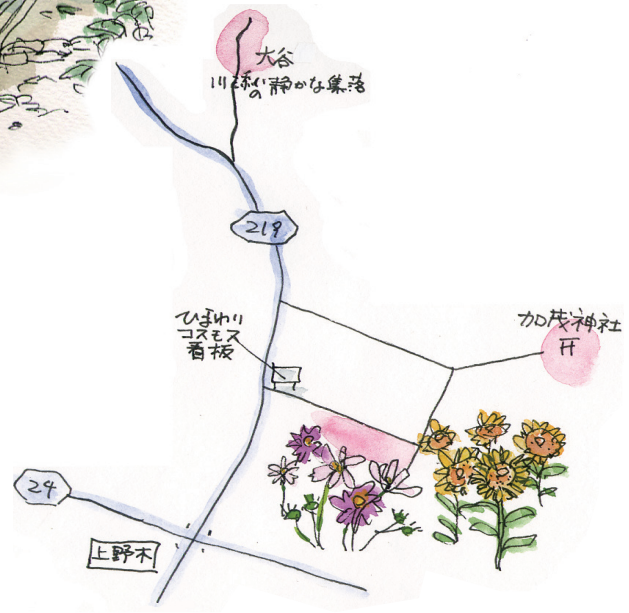


季節によって変わる花畑  
鎮守の杜、癒しの道

宮川地区の真ん中を野木川が流れ、山裾から川に向かって豊かな田園風景が広がります。この地区では、毎年、休耕田を利用して、ひまわり畑、コスモス畑を作っています。田園の中に突如広がるお花畑は、市民の憩いの場となっています。

かもじんじや 加茂神社

かも 加茂には弥生中期から鎌倉期の加茂古墳が多数存在します。ムクノキに囲まれた鎮守の杜である加茂神社から背後の為屋寺まで続く道は、凜とした空気と緑に覆われ、森林浴を楽しめます。





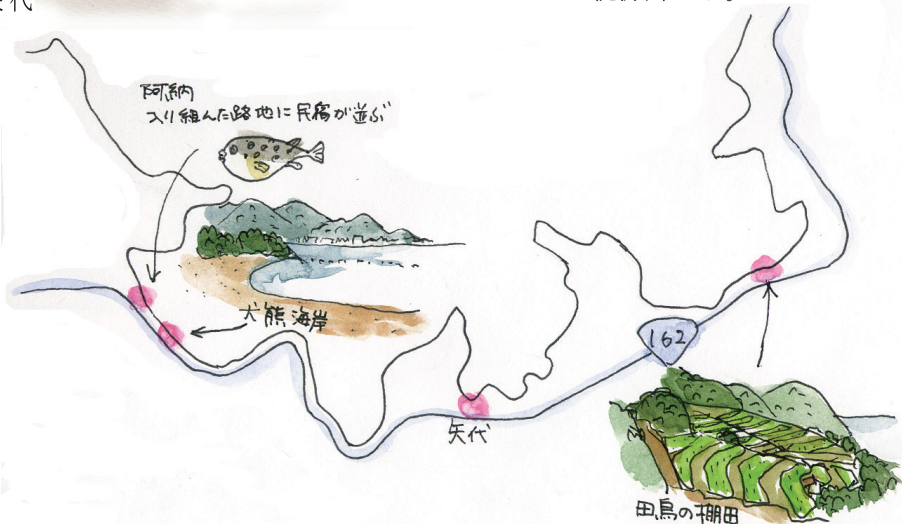


海に沈む夕日は、まるで桃源郷です

## 5 東部海岸地域

小浜市街から国道 162 号線を上ると海沿いに、入り組んだ民宿の路地がある。阿納、犬熊、志積、矢代、田鳥と、美しい入江を持つ漁村が続きます。リアス式海岸が発達し、波穏やかなあたりは、釣りや海水浴のスポットとして人気があります。古くからの伝承に彩られた村里である矢代には、「手杵祭り」という奇祭があります。紺碧の海を背に稲穂がそよぐ田鳥の棚田。そこから見える海に沈む夕日は、まるで桃源郷です。

やしろ 矢代



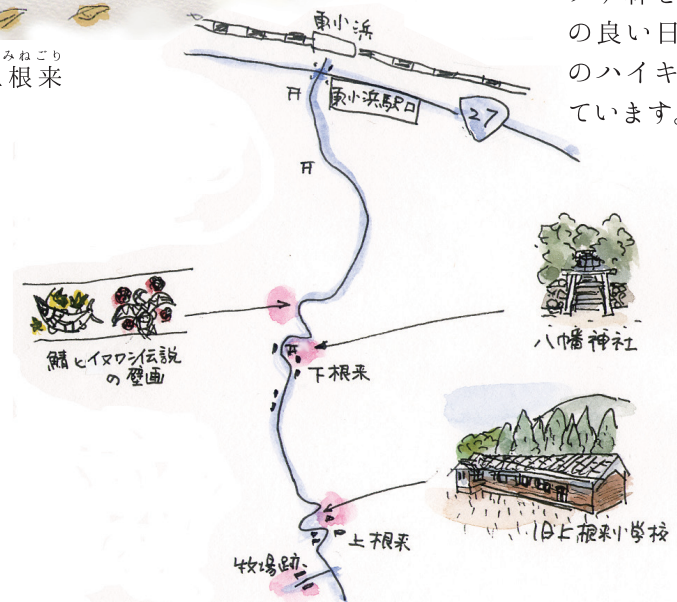
## 6 東部山間地域

海が見えるハイキングコースへ



かみねごり 上根来

国道 27 号線の東小浜駅口交差点を南へ、若狭姫神社、若狭彦神社を右手に見ながら、山道を上り「鯖街道」と「良弁和尚のイヌワシ伝説」の壁画を過ぎると、下根来の集落、さらに 5 キロ程上ると、ブナ林の残る上根来の集落が現われます。ここから根来坂峠を越えて京都の鞍馬へと繋がる道は、「鯖街道」の最短ルートです。上根来から根来坂峠に向かう手前に牧場跡があります。ブナ林を登りつめると天気の良い日は海が見え、市民のハイキングコースになっています。





## 7 西部地域



黒駒神社のナギの木

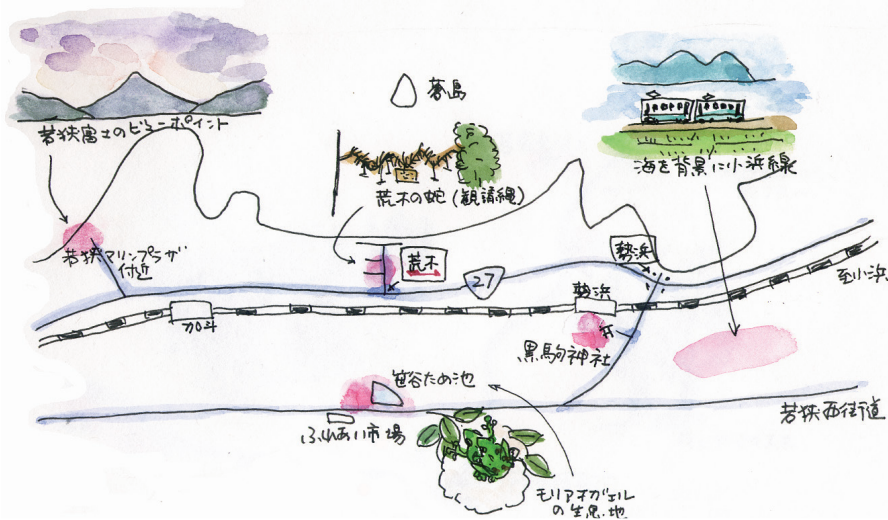
### 神話を感じるまち

国道27号線旧小浜市街から後瀬山トンネルを抜けると、右手に美しい海の風景が続きます。飯盛山から海に向かって農村集落が点在し、山裾にある笹谷のため池には遊歩道が整備されています。

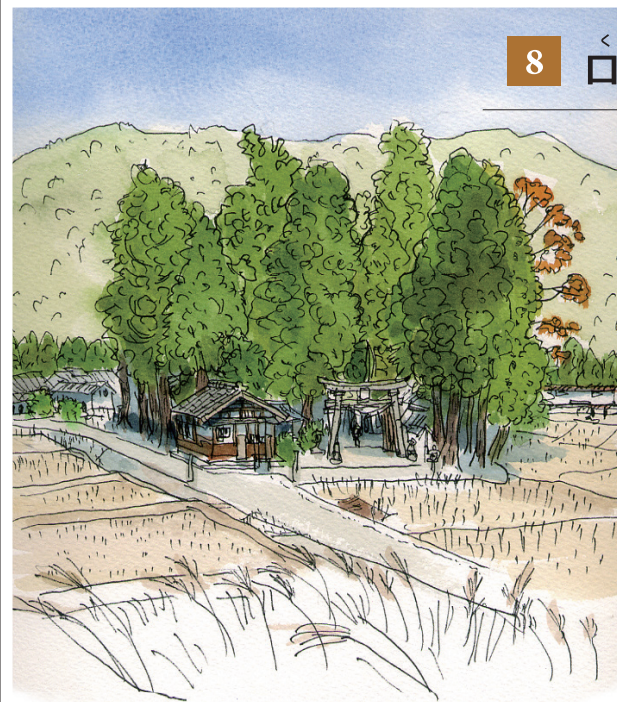
黒駒神社は、昔、殿様が木を持ち帰ったところ、木が里を離れた悲しさに毎晩夜泣きしたという「夜泣きのナギの木」があります。

蒼島を望む荒木集落では蛇という「勧請縄」を集落境に掛け、一年の除災招福を祈念します。

一番西側、岡津漁港から見る若狭富士の夕景は神奈備を彷彿させます。



## 8 くちなた なかなか 口名田・中名田地区



若宮神社

### 鎮守の森、大木、カヤ場の霜がつくる別世界

南川沿いを名田庄へ向かう中ほど、かつて盛んであった若狭瓦や伝統野菜の谷田部ネギ生産地の山村集落です。

口名田地区では最も古い神社の一つである若宮神社には、三年ごとに桂太鼓や浦安の舞が奉納され、地域の鎮守の森となっています。桂というバス停の横には、銀杏と桂の大木が並び、春の新緑、秋の紅葉は見事です。冬になると南川にそそぐ支流のひとつ田村川沿いにカヤ干し風景が広がり、朝の光の中、カヤ場の霜が湯気となる風景は別世界です。

